

令和2年12月19日、藻谷浩介さんをお呼びして講演会、その後中山町長と対談を行いました。その内容を一部ご紹介いたします！藻谷さんは、ベストセラーとなった「里山資本主義」や「デフレの正体」などの著者です。

町の美しい田園風景も人が維持してきた。当たり前前のことが当たり前前ではない。改めて感謝しよう。



『コロナ＝都会病』

コロナウイルスには次の特徴がある。

コロナとは『都会病』。

コロナは人口が密集している都会で特に流行っている。

それはなぜか？人口が密集し、換気も不十分なため。

その点、大刀洗は、新鮮な空気があるのが強み。

換気を適度に行うことが感染防止の上で大切。

また、マスコミは東京視点のニュースを流している。マスコミの情報（都会視点）に一喜一憂せず、冷静に捉えること。

そして、恐れすぎず、緩みすぎず。○と×の間のいい塩梅を

目指していくことが大事。

令和の人生は9回裏まで

日本の死因第1位はがん、第2位は心臓病。

では、第3位は？実は老衰。老衰とは無病息災のこと。

これからのまちづくりの視点として、安心して老衰で生きる地域社会を築いていくことが求められる。

人生を野球に例えると（右図参照）、昭和は7回裏（70歳）まで。令和は9回裏（90歳）+延長戦もある人生。

退職後、7回裏（70歳）以降の人生をどう設計するか。

その点、都会よりも田舎のほうが、農業ができ、自然もあって、地域のつながりもあり楽しく暮らせる。

人生を野球に例えると

1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
5歳	15歳	25歳	35歳	45歳	55歳	65歳	75歳	85歳
10歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳	90歳

7回以降をどう過ごすか？

田舎のほうが、仕事も収入もあり実は有利！

10年の成果！

人口増の大刀洗町！

これから特に取り組むべき

①空き家対策

子育て世代に空き家を貸そう！

②地産地消

地域と地域企業が今後も続いていく道！

実はすごい！人口増の大刀洗

人口減少時代の今、全国の農村部でも珍しく、大刀洗町の人口は増加。これは大変すごいこと！特に0歳～14歳の若年人口が増えている。これまでの取り組みの成果だろう。

今後取り組むべきは、【①空き家対策と ②地産地消】

①空き家を活用できないと、今後、新しい方が町に住めなくなる。空き家は対策しないとすぐに“負動産”化し、人が住めない。県と連携して1件でも多く対応することが大切。

②地元産食材を地元で利用したり、地元の事業者同士が、発注することで、地域にお金が回り産業が活性化。行政だけでなく、住民一人ひとりの意識も大切。